

若州人形座

水上 勉 没後20年特別企画



ブンナよ、
木からおりてこい

4人の語り部たちによる朗読劇

水上 勉の不朽の名作が、
若州人形座による演出でよみがえる

2025年3月29日(土) 14時開演 (30分前開場)
京都府立文化芸術会館ホール

入場料 [全自由席 / 税込み / 当日券は各500円増]
一般 2,000円 [友 1,800円 ※前売のみ] / 高校生以下 1,000円
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

チケット取扱所 京都府立文化芸術会館 ☎075-222-1046 [受付時間 9時~18時]
前売開始 1月25日(土) 10時~
窓口購入・電話予約 (要来館でのご精算)のみ / 代金引換郵便は友の会会員様のみ
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:51766]
ローソン / ミニストップ各店内のLoppiでお受け取り・直接購入

お問合せ 京都府立文化芸術会館 ☎075-222-1046 [受付時間9時~18時]
主催 / 指定管理者 創[(公財)京都文化財団・(株)コングレ共同事業体] 協力 / 若州人形座

会場案内 京都市上京区河原町通広小路下ル
TEL. 075(222)1046



- 【JR京都駅から】
市バス4系統・7系統・205系統
- 【四条河原町から】
市バス3系統・4系統・7系統・205系統
- 【三条京阪から】
市バス37系統・59系統

【京都バス】21系統・41系統にて京阪「出町柳」駅経由
※いずれも「府立医大病院前」バス停下車スグ前
●京阪電車 / 「出町柳」駅もしくは「神宮丸太町」駅から徒歩約12分
※駐車スペース有(有料150円 / 30分 / 30台)



写真撮影：向坂典子

『ブンナよ、木からおりてこい』

ジャンプの得意なトノサマガエルのブンナは、ある日、椎の木のてっぺんまで登ってみた。そこはトンビの餌置き場で土があった。土の中に隠れているブンナの頭上に、傷ついたスズメやモズやネズミ、ヘビまでが落とされてゆく。

そこで交わされる傷ついた者たちの話から、ブンナは「死ぬこと」「生きること」を考え、大きく成長してゆく。

若州人形座よりひとこと!

この「語り部たちによる『ブンナよ、木からおりてこい』」は4人の語り部たちが役を交代しながら、人形や影絵を使った朗読劇で上演します。

原作は水上 勉が昭和47年に書き上げた作品。若州人形座のこれまでの大人向けの作品群とは異なり、小学生や中学生、高校生にも観てほしい「命の大切さ、尊さ」を考えさせられる作品です。

スタッフ・キャスト

原作 水上 勉

脚本 飛鳥井かづり

演出 若州人形座

語り 飛鳥井かづり

静永鮮子

くぬぎ森子

工藤琢人

音 鳥田慎二

[美術]

ブンナ人形製作

吉田貴志

舞台美術 琢拓堂

影絵製作 琢拓堂

衣装 中村藍子

若州人形座は、作家の故水上勉が設立した福井県大飯郡の若州一滴文庫の文化活動の一環として旗揚げされ、若州一滴文庫くま椅子劇場ほか、全国各地で様々な竹人形文楽を上演してきました。

2001年・京都の画廊ギャラリーテラでの公演以降、現在巡演中の『はなれ瞽女おりん』『曾根崎心中』『越前竹人形』の3作品は、飛鳥井かづりが、語りをはじめ全ての登場人物の声を一人で担当し、動くのは人形や影、仮面等という形で上演しています。

竹の持つ力強さとしなやかさを併せ持った人形は、素朴であたたかく、また、語り手と人形遣い手が時に三位一体となって、竹人形がまるで生きているかのように動き、語り出します。

水上文学と竹人形が織りなす幽玄の世界は、全国各地で高い評価をいただいています。